

基礎医学科目の教科書・参考書調査の報告

亀井雄大，橋本郷史，児玉闊
東邦大学医学メディアセンター

医学教育はコア・カリキュラムに則って行われているが，カリキュラムの中で教科書・参考書まで定められているわけではなく，どの大学でも独自に指定した教科書・参考書を使用している。他の大学で使用している教科書・参考書の情報は本学医学生の医学書選択の幅を広げることに関わると考え，関東私立医科大学を対象に，大学で使用している教科書・参考書情報の調査を行った。その結果，本学を含めた15大学の情報を収集することができた。このデータを集計し，学内の学生向けに，多くの大学で使用している教科書を紹介する展示会を開催し好評を得た。今回のポスターでは，収集した教科書・参考書データを分析した結果を報告する。

この調査では，基礎医学科目（解剖学，生理学，生化学，微生物学，寄生虫学，薬理学，免疫学，病理学，法医学，衛生学，公衆衛生学）を対象とした。講義別に教科書・参考書を記入するExcelファイルを各校に送付し，対象となる基礎医学科目について記入して提出してもらった。

表1は使用大学数ごとの教科書・参考書数である。15大学で使用している教科書・参考書のユニークなタイトル数は計1,022タイトルで，このうち2大学以上で使用しているもの（以下，複数大学使用教科書）は253タイトル（約25%）であった。

次に1大学のみで使用している教科書・参考書（以下，1大学使用教科書）と複数大学使用教科書では，特徴に差があると考えて比較を行った。最近5年以内に出版された資料の割合は，1大学使用教科書で約26%に対し，複数大学使用教科書で約51%だった。洋書の翻訳タイトルの割合は，1大学使用教科書で約19%に対し，複数大学使用教科書で約38%だった。

複数大学使用教科書の方が，資料の出版年が新しく，また翻訳タイトルの割合が高いということが分かった。この結果に加えて，ポスターでは複数大学使用教科書について科目別に行った比較を報告する。

表1. 使用大学数ごとの教科書・参考書数

使用大学数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
タイトル数	769	111	60	19	18	13	7	9	8	1	3	2	1	1	1,022